

# 自蹊庵便り

令和三年 師走

NO 154

（令和三年惜しみ逝く年）

## 独座観念

瑞峯院様の方丈は室町時代の禅宗方丈建築の遺構をとどめており、重要文化財の指定をうけております。

独座庭の枯山水は蓬萊山の山岳と大海に寄せる厳しい荒波を表しており、反対側の閑眠庭の静かな入り海へと続きます。

御茶席に入る前のしばしを枯山水に向き合って独座して沈黙考、心は世俗の結界を越える瞬間でもありません。

この度、このような場を賜つての喜寿のお招きごとができましたこと、巡り合わせの縁えにしとは申しますものの、余りにももつたえいなく恐れ多いことにございました。

分に過ぎたことと重々承知の上での瑞峯院餘慶庵にて、実壺での口切り茶事に十五名様のお五日間、七十五名様をお招きすることができましたこと、無事恙なく勤め終えましたこと、偏に神仏の御加護、お恵み

あつてのことにございます。

さりながら、その陰の働きとして、スタッフの皆様が支えなくしては、一つとして調わないことにございました。

東金自蹊庵での口切り、夜咄、京都八瀬の夜咄を含めますと、延べ百八十名の皆様に御参席を賜りましたこと、誠に誠に身に余ることにございました。多くのスタッフのみなみならぬ御協力の下支えあつてのことと、紙面をお借りして改めて深く感謝申し上げます。

この度の喜寿のお招きごと、しみじみ思いましたことは、自分の力など微々たるもの、お人の力のすごさ、真心と偉大さに終日こうべ頭こを垂るるばかりにございました。

誠にお一人お一人の真剣な眼差しに突き動かされ、力を注ぐ側の私が、力を戴くばかりの幸せに満ちた一会一会にございました。気の利いた道具の一つも持ち合わせない私が、茶事にて多くの皆様をお招きする

という乱暴さも稀有する暇いとまもなきほど、

次から次へと鶴が舞い降りてきました。コロナ禍の折、各服点の御濃茶十五名様に陰点もなくお一人お一人心を込め、感謝の服を点てさせて頂くことができましたこと、お道具を惜しみなく御提供くださった皆様、そして席中では一盃一盃を愛でて、心から楽しんでくださり、席中を盛り上げてくださったお客様、皆々様の心優しさに助けられての一日一日の饗応にございました。

沢山の真心に支えられて、しみじみ思いますことは、お人の力、一人一人の力の結集は何と多くの恵みをもたらすことにございました。

お人以上に大切なものはなく、お人が最高の宝であることを骨身に染みて実感したこの度の一席一席にございました。そこには茶事という存在そのものが心を修める術であること、多くの先人達が一服

の茶への熱い思いの足跡を残してくれていること、一期という言葉の重み、一会という言葉の深きことに改めて気づかされました。

八十路にもうすぐ届くわが身なればお客様も同年前後の方々も多く、独座庭にて、茶室の点検後に独り座し、今日の一会のふたたび返らざることに心を寄せ、まさに独座観念のひとつきを過ぎつつ、一期一会の言葉の切実さと背中合わせの一席の重みに感じ入ったことになりました。

北は北海道から南は九州から、日本列島縦断、横断と誠に津々浦々よりの御来席を賜りましたこと、ただただかたじけなく、涙落つる十六日間にごさいました。

心残りには、コロナ禍において、海外の皆様と一会を果たせなかつたことにごさいます、一日も早い終息をお祈りしつつ筆を止め置きます。

令和三年師走十五日

鶴の茶寮 亭主

半澤 鶴子

多謝

追伸 東金に戻りましたら、多くの皆様から丁寧な礼状が沢山届いておりました。多くの真心をありがとうございます。

皆々様 良いお年を！

## 令和四年度教室予定

### 京都教室

京都教室大徳寺瑞峯院餘慶庵での茶事は偶数月で予定しております。奇数月は八瀬のまなびや（貴素の会）です。

### 大徳寺瑞峯院餘慶庵

#### 暁の茶事（如月）

二月六日（日）正午茶事にて暁の再現

席入 午前十一時半

二月七日（月）～八日（火）

席入 午前五時

#### 観櫻の茶事（卯月）

四月三日（日）～五日（火）

席入 午前十一時半

#### 夕ざりの茶事（水無月）

六月五日（日）～七日（火）

席入 午後五時

#### 朝茶事（葉月）

七月三十一日（日）～八月二日（火）

席入 午前六時

#### 名残りの茶事（神無月）

十月二日（日）～四日（火）

席入 午前十一時半

#### 夜咄（師走）

十二月四日（日）～五日（月）

席入 午後五時

※夜咄は日曜、月曜の二日間とします。

#### 八瀬のまなびや（茶事・貴素の会）

#### 初釜（睦月）

一月八日（土）～九日（日）

貴素の会（大皿盛り）

一月十日（月）～十一日（火）

雛の節句茶事（弥生）

三月五日（土）～六日（日）

貴素の会（雛の点心）

三月七日（月）～八日（火）

初風炉（皐月）

四月三十日（土）～五月一日（日）

貴素の会（端午の点心）

五月二日（月）～三日（火）

七夕の茶事（文月）

七月二日（土）～三日（日）

貴素の会（七夕の点心）

七月四日（月）～五日（火）

重陽の茶事（長月）

九月三日（土）～四日（日）

貴素の会（重陽点心）

九月五日（月）～六日（火）

口切り茶事（霜月）

十一月五日（土）～六日（日）

貴素の会（口切りの点心）

十一月七日（月）～八日（火）

東金教室

初釜（睦月）

一月十五日（土）準備

一月十六日（日）～十八日（火）

席入 正午

※一月は年始のため、第三週となります。

暁の茶事（如月）

二月十二日（土）準備

二月十三日（日）正午席入で暁再現

二月十四日（月）～十五日（火）

席入 午前五時

雛の節句茶事（弥生）

三月十二日（土）準備

三月十三日（日）～十五日（火）

席入 正午

観櫻茶事（卯月）

四月九日（土）準備

四月十日（日）～十二日（火）

席入 正午

端午の茶事（皐月）

五月七日（土）準備

五月八日（日）～十日（日）

席入 正午

夕ざりの茶事（水無月）

六月十一日（土）準備

六月十二日（日）～十四日（火）

席入 午後五時

朝茶事（文月）

七月九日（土）準備

七月十日（日）～十二日（火）

席入 午前六時

八月は全教室お休みです。

重陽の茶事（長月）

九月十日（土）準備

九月十一日（日）～十三日（火）

席入 正午

名残の茶事（神無月）

十月八日（土）準備

十月九日（日）～十一日（火）

席入 正午

口切りの茶事（霜月）

十一月十二日（土）準備

十一月十三日（日）～十四日（月）

席入 正午

夜咄の茶事（霜月）

十二月十日（土）準備

十二月十一日（日）～十三日（火）

席入 午後五時

利休会記を読み解く会

京都教室（第一水曜日又は第二水曜日）

午前九時半～十一時半 講義・再現料理

午後一時 会食 午後二時 抹茶一服

一月十二日、二月九日、三月九日

四月六日、五月四日、六月八日

七月六日、八月三日、九月七日

十月五日、十一月九日、十二月七日

湯河原教室（第三日曜日とその翌日）

口悦会・利休会記を読み解く会

初日・旬の食材を楽しむ会

二日目・利休会記を読み解く会

会費 五千円（一日のみ）

八千円（二日間）

担当者 服部宏子様

(090-6173-0243)

一月二十四日・二十五日

二月二十日・二十一日

三月二十日・二十一日

四月十七日・十八日

五月十五日・十六日

六月十九日・二十日

七月十七日・十八日

九月十八日・十九日

十月十六日・十七日

十一月二十日・二十一日

十二月十八日・十九日

柏グループ（柏の葉公園内会議室）

（第三水曜日）

午前十時から正午 昼食後解散

会費 五千円（昼食・一服）

三千円（会のみ）

担当者 高橋れい子様

(090-6175-1228)

一月十九日、二月十六日、三月十六日

四月二十日、五月十八日、六月十五日

七月二十日、九月二十一日、十月十九日

十一月十六日、十二月二十一日

栃木農園レストラン（第三水曜日）

口悦会・利休会記を読み解く会

午前十時から正午 講義

正午～午後一時 再現料理、抹茶・菓子

会費 五千円（昼食代別料金）

担当者 青村裕子様

(090-19807-13402)

一月二十日、二月十七日、三月十七日

四月二十一日、五月十九日、六月十六日

七月二十一日、九月十五日、十月二十日

十一月十七日、十二月十五日

○△□の喫茶店(第四土曜日)

午後三時から

会費：五千元

(アフタヌーンティセット付)

担当者 塩浦卓介様

(0801110713428)

一月二十二日、二月二十六日

三月二十六日、四月二十三日

五月二十八日、六月二十五日

七月二十三日、九月二十四日

十月二十二日、十一月二十六日

十二月二十四日

目黒・羅漢寺(第三土曜日)

午前十時から正午 昼食後解散

会費 五千元(昼食・一服)

三千元(会のみ)

担当者 漆原かずみ様

(0901482114810)

一月十五日、二月十九日、三月十九日

四月十六日、五月二十一日、六月十八日

七月十六日、九月十七日、十月十五日

十一月十九日、十二月十七日

市川・長松寺(第四水曜日)

午前十時〜正午 講座・再現料理

会費：五千元

担当者 青野かおり様

(0901143611684)

一月二十六日、二月二十五日

三月二十三日、四月二十七日

五月二十五日、六月二十二日

七月二十七日、九月二十八日

十月二十六日、十一月二十三日

十二月二十八日

令和四年からの新教室

千葉教室・秀明茶室(第四水曜日)

午後三時〜 講座のみ

会費：三千元

担当者 道前一剛様

(0701445214781)

日程は、市川・長松寺と同じ

鎌倉教室・鎌倉彫会館(第四日曜日)

午後一時〜 講座

会費：三千元

担当者 角田宗弘様

090(6349)7695

一月二十三日、二月二十七日

三月二十七日、四月二十四日

五月二十二日、六月二十六日

七月二十四日、九月二十五日

十月二十三日、十一月二十七日

十二月二十五日